



トップライトから光の降り注ぐ教室前のワークスペース



教室をやわらかく仕切る収納家具



黒松内小学校 エコ改修

KUROMATSUNAI elementary school Eco-Renovation

昭和56年竣工の黒松内小学校は、老朽化と耐震両面から改修の必要がせまられました。竣工から30年経過した校舎は、寒く暗く快適な学校空間とは言い難い状態になっていました。H22年から始まった改修計画は、1年をかけて検討委員会と基本計画を行い、多様化する学習に対する対応と、快適な生活空間を改修によって可能にする計画としました。また、新しいエネルギーを使用しながら校舎全体の暖房と換気を行い健康な空間をつくることを、建築の断熱改修と合わせて目指しました。温熱環境は予想通りの効果が得られ、現在良好な状態を維持しています。

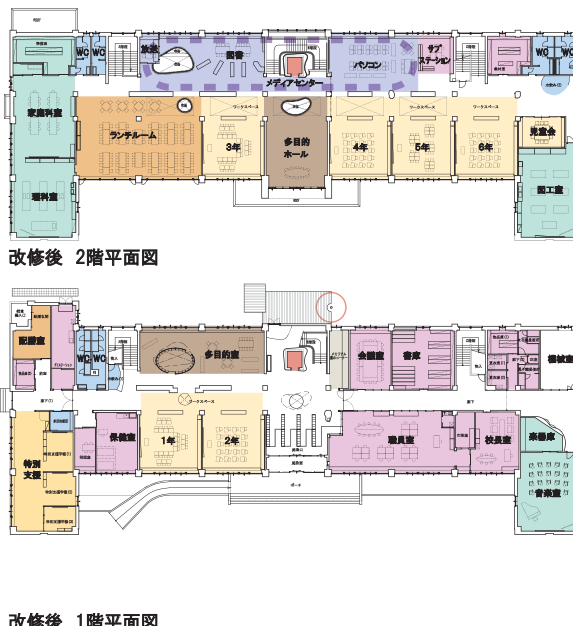


床下暖房の仕組みが見えるホール



黒松内を流れる川をイメージした明るく広い多目的ホール。児童全員でのランチもできる。

校舎の改修内容は、構造に必要な最低限の壁を残し、その他は極力取り除きました。限りなくワンルームに近い状態をつくり、そこから新しい教育プログラムに基づき空間構成を行いました。共用部との仕切りのない教室やドアのない特別教室、全員が一斉に食事のできるランチルーム等、ワンルームにすることで有効に使えるスペースを生み出すことができました。また、上下をつなぐ吹抜け、上部から光が降りそそぐトップライト等、既存にはなかった効果的な要素も取り入れることができました。校舎全体は、1・2階とも風の流れと光の溜まりが気持ちよく、それに子供たちの元気が加わり、生きた空間に日に日に変わっていくことが実感できる小学校になりました。



改修後 2階平面図

改修後 1階平面図



改修前 2階平面図

改修前 1階平面図



黒松内小学校オリジナル家具